

咽頭結膜熱とは？

1. 咽頭結膜熱(プール熱)とは？

- ・通常、6月から徐々に流行し始め、7～8月にピークとなる感染症です。2003年以降、冬季にも流行が見られるようになり、現在は季節を問わず発生しています。
- ・小児(特に5歳以下)に多く、発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状を起こします。
- ・プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるため、「プール熱」とも呼ばれます。

2. どのように感染するの？

- ・感染経路：飛沫感染、接触感染
- ・病原体：アデノウイルス
- ・タオルの共用や、患者が触れたものを介して感染します。
- ・家庭内、保育施設や学校、病院等で感染が見られることがあります。

3. 症状は？

- ・潜伏期間：5～7日
- ・症状：発熱(38～39℃)、のどの痛み、結膜炎(結膜充血、眼痛、眼脂、羞明)が3～5日間程度持続します。
眼の症状は、片方から始まり、その後他方にも出現します。
- ・注意：新生児(生後14日以内)や、心肺機能に基礎疾患を有する小児が感染した場合は、重症化する場合があります。

4. 咽頭結膜熱にかかったときはどうすればいいの？

- ・特別な治療法はなく、対症療法が中心となります。ほとんどが自然に治ります。
- ・高熱が比較的長く(5日前後)続くことがあります。
- ・高熱が続く、吐き気や頭痛が強い、咳が激しいときなどは、早めに医療機関に相談しましょう。
- ・学校は、「主要症状が消退した後、2日を経過するまで出席停止」となります。詳しくは、学校と主治医に相談しましょう。

5. 感染を予防するためには？

(1)手洗い・うがい

- ・流行時には、こまめな手洗いとうがいが重要です。石けんを使い、丁寧にこすり洗いをし、水で洗い流しましょう。
- ・手洗い後はペーパータオル等を使って手を拭きます。
タオルを使用する場合は、毎回タオルを交換するか、清潔な個人用タオルを使用しましょう。
水道の蛇口は、手と一緒に洗うかペーパータオルを利用して締めると、手の再汚染を防げます。
- ・プールから上がった後はシャワーを浴び、うがいをしましょう。

(2)接触を避ける

- ・感染者との密接な接触は避けましょう(タオルなどは別に使いましょう)。
- ・むやみに目や口に触れたり、こすったりしないようにしましょう。



〈宮崎県感染症対策課〉